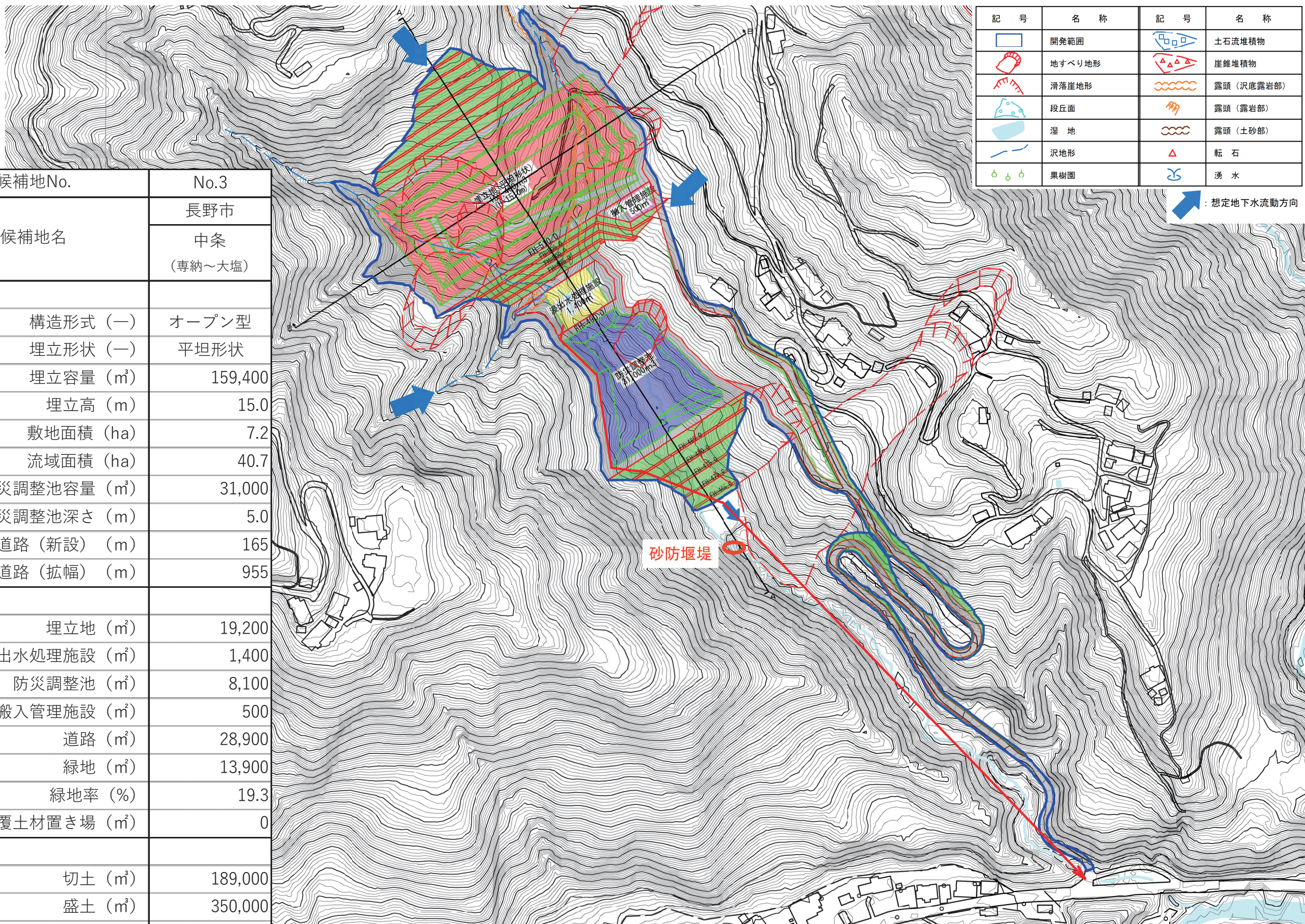


施設構想図(長野市 中条：専納～大塩)

A1 S=1:1,500
A3 S=1:3,000



記号	名称	記号	名称
	開発範囲		土石流堆積物
	地すべり地形		崖錐堆積物
	滑落崖地形		露頭(沢底露岩部)
	段丘面		露頭(露岩部)
	湿地		露頭(土砂部)
	沢地形		転石
	果樹園		湧水

: 想定地下水流動方向

候補地No.	No.3
候補地名	長野市
	中条 (専納～大塩)
計画諸元	
構造形式(一)	オープン型
埋立形状(一)	平坦形状
埋立容量(m³)	159,400
埋立高(m)	15.0
敷地面積(ha)	7.2
流域面積(ha)	40.7
防災調整池容量(m³)	31,000
防災調整池深さ(m)	5.0
搬入道路(新設)(m)	165
搬入道路(拡幅)(m)	955
面積諸元	
埋立地(m²)	19,200
浸出水処理施設(m²)	1,400
防災調整池(m²)	8,100
搬入管理施設(m²)	500
道路(m²)	28,900
緑地(m²)	13,900
緑地率(%)	19.3
覆土材置き場(m²)	0
土工量	
切土(m³)	189,000
盛土(m³)	350,000
不足土*(m³)	199,900

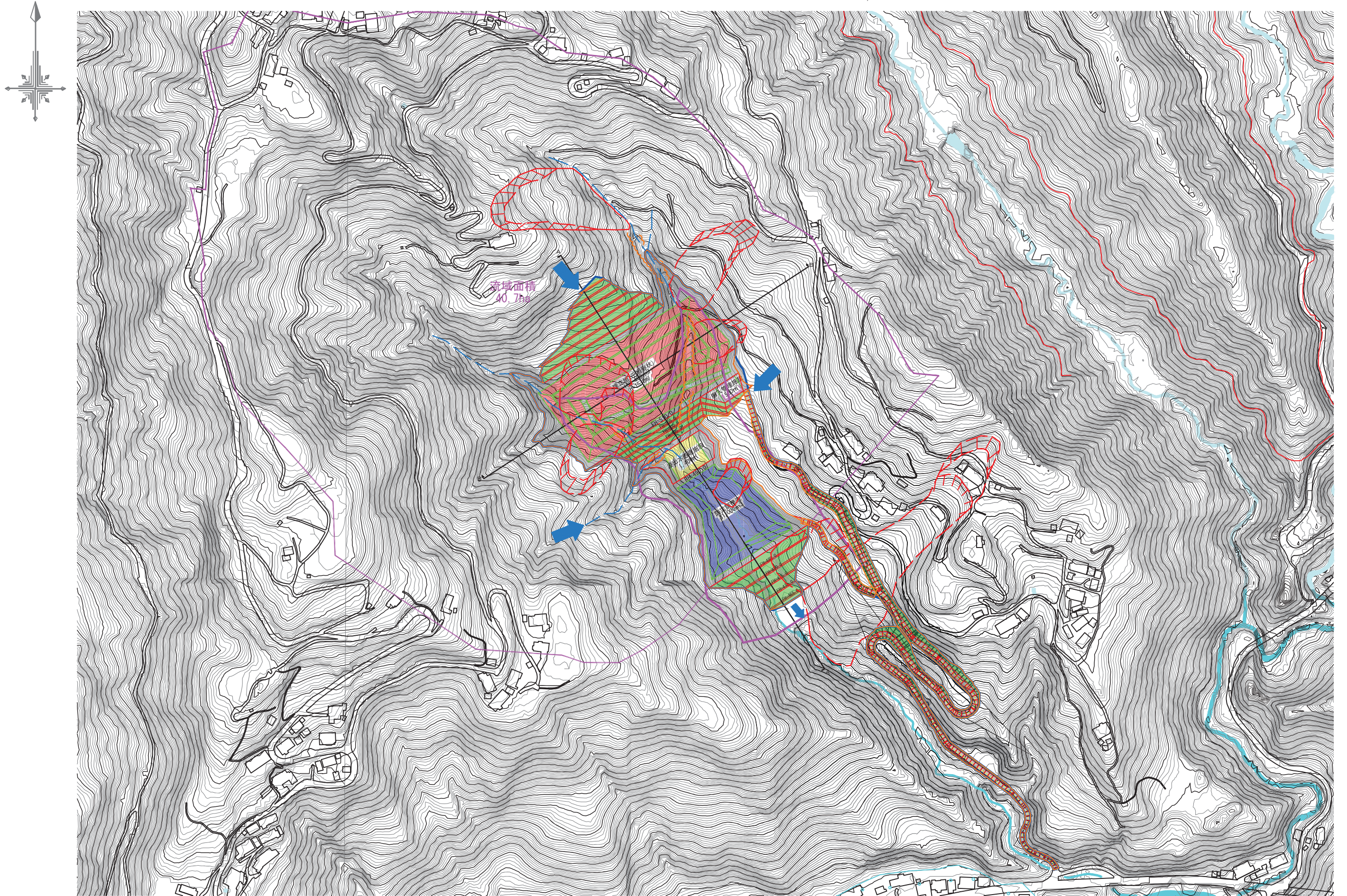
砂防堰堤

処理水の放流ルート
(下水道放流)

*土の締固め率0.9とする

流域図(長野市 中条：専納～大塩)

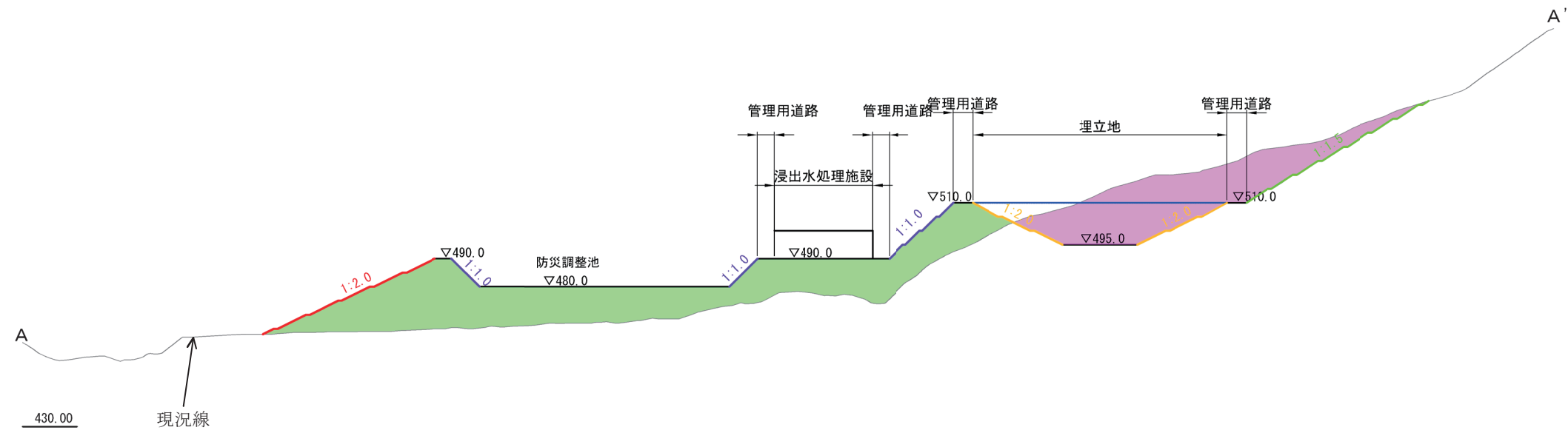
A1 S=1:2,000
A3 S=1:4,000



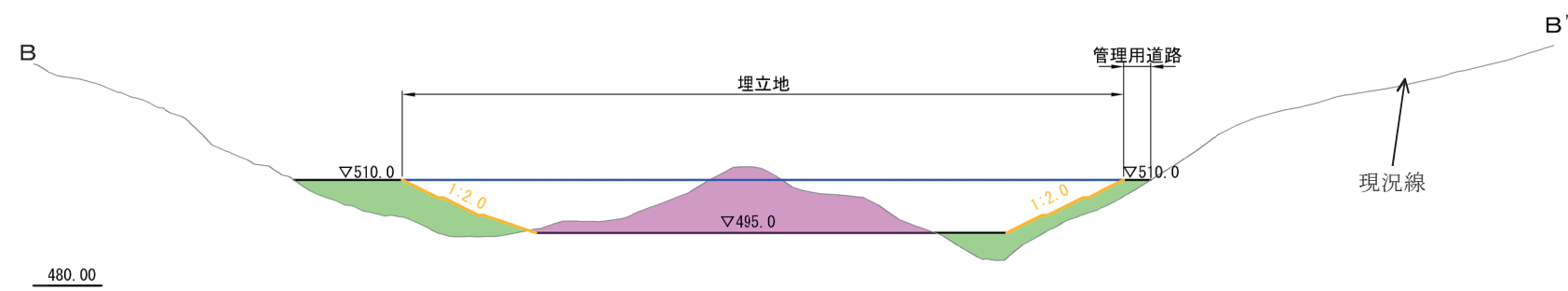
標準断面図(長野市 中条：専納～大塩)

A1 S=1:1,000
A3 S=1:2,000

A—A' 断面図



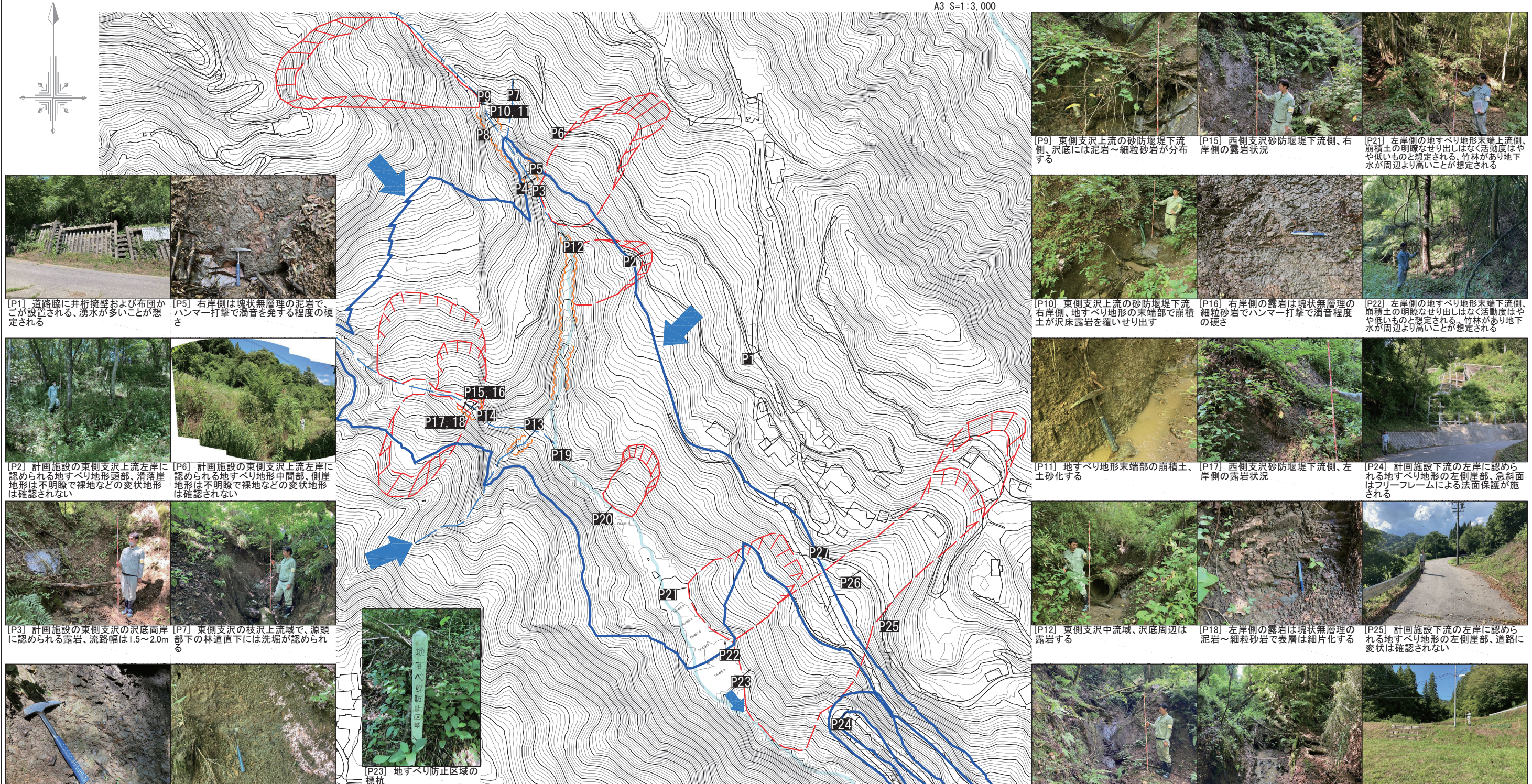
B—B' 断面図



候補地の現況報告 (地形・地質・水文)

(長野市 中条日高：専納～大塩)

A1 S=1:1,500
A3 S=1:3,000



[P1] 道路脇に井桁擁壁および布団が設置される、湧水が多いことが想定される



[P2] 計画施設の東側支沢上流左岸に認められる地すべり地形頭部、滑落崖地形は不明瞭で裸地などの変状地形は確認されない



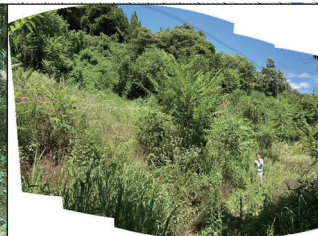
[P3] 計画施設の東側支沢の沢底両岸に認められる露岩、流路幅は1.5~2.0m



[P4] 左岸側は塊状無層理の泥岩～細粒砂岩で、ハンマー打撃で濁音を発する程度の硬さ、N13° E70° E方向の亀裂がやや発達する



[P5] 右岸側は塊状無層理の泥岩で、ハンマー打撃で濁音を発する程度の硬さ



[P6] 計画施設の東側支沢上流左岸に認められる地すべり地形中間部、側崖地形は不明瞭で裸地などの変状地形は確認されない



[P7] 東側支沢の枝沢上流域で、源頭に認められる露岩、流路直下には洗堀が認められる



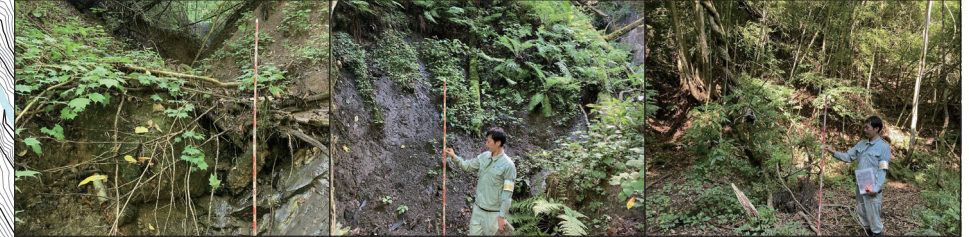
[P8] 東側支沢上流の沢底左岸側に分布する泥岩、表層はハンマーのピック刺さる程度の硬さ



[P23] 地すべり防止区域の標杭

記号	名称	記号	名称
	開発範囲		土石流堆積物
	地すべり地形		崖錐堆積物
	滑落崖地形		露頭 (沢底露岩部)
	段丘面		露頭 (露岩部)
	湿地		露頭 (土砂部)
	沢地形		転石
	果樹園		湧水

地区	評価項目	現地概要	現地写真
長野市 (専納～大塩)	地形	・ 沢地形周辺の斜面には、不明瞭な滑落崖地形を示す複数の地すべり地形が認められる ・ いくつかの地すべりにおいては地すべり移動体の末端部の押し出しがあることより、やや活動的なものも含まれるとおもわれる	P2、P6、P7、P10、P20、P21、P22、P24、P25、P26、P27
	地質	・ 東側支沢の沢底周辺には新第三紀の堆積岩 (泥岩～細粒砂岩) が広く露出する ・ 地すべり地形の末端部付近は地すべり移動体の土砂化が確認される	P3、P4、P5、P8、P9、P11、P12、P13、P14、P15、P16、P17、P18
	(地下水)	・ 東側支沢の枝沢源頭は標高530m付近であり、東側支沢と西側支沢の形状からも標高550m付近での流水が想定される	P1、P7、P19、P21、P22
留意事項		・ 沢地形周辺の斜面に地すべり地形 (地すべり防止区域含まれる) が確認されるため、地形変化を伴う施設計画は留意が必要となる ・ 砂防指定区域内となるため、土石流による流出土砂量を踏まえた対応が必要となる	



[P9] 東側支沢上流の砂防堰堤下流側、沢底には泥岩～細粒砂岩が分布する



[P10] 東側支沢上流の砂防堰堤下流側、右岸側、地すべり地形の末端部に崩積土が沢床露岩を覆いせり出す



[P11] 地すべり地形末端部の崩積土、土砂化する



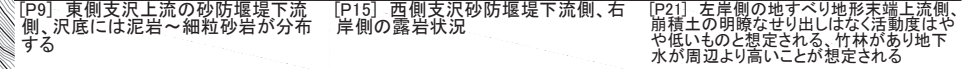
[P12] 東側支沢中流域、沢底周辺は露岩する



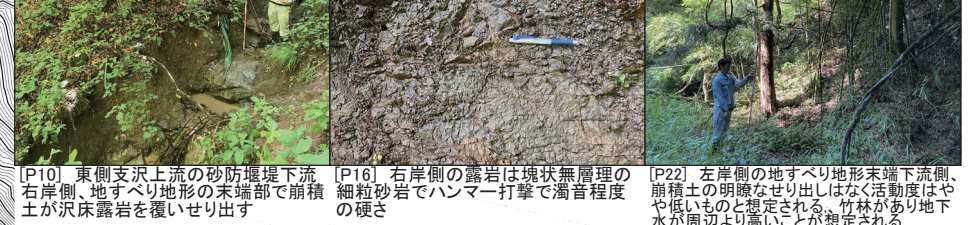
[P13] 西側支沢の枝沢、沢底周辺は細粒砂岩が露出する



[P14] 西側支沢砂防堰堤下流側、両岸とも露岩するものの左岸側の方が褐色化が強い、地形図から両岸に地すべり地形が判読される



[P15] 西側支沢砂防堰堤下流側、右岸側の露岩状況



[P16] 右岸側の露岩は塊状無層理の細粒砂岩でハンマー打撃で濁音程度の硬さ



[P17] 西側支沢砂防堰堤下流側、左岸側の露岩状況



[P18] 左岸側の露岩は塊状無層理の泥岩～細粒砂岩で表層は細粒化する



[P19] 東西の支沢合流部、西側支沢の方が沢底が低く流量も多い、周辺は露岩なし



[P20] 左岸側の地すべり地形末端部、沢底を覆い崩積土がせり出す (幅10m、高さ6m)、やや活動的と考えられる



[P21] 左岸側の地すべり地形末端上流側、崩積土の明瞭なせり出しはなく活動度はやや低いものと想定される、竹林があり地下水が周辺より高いことが想定される



[P22] 左岸側の地すべり地形末端下流側、崩積土の明瞭なせり出しはなく活動度はやや低いものと想定される、竹林があり地下水が周辺より高いことが想定される



[P24] 計画施設下流の左岸に認められる地すべり地形の左側崖部、急斜面はフリーフレームによる法面保護が施される



[P25] 計画施設下流の左岸に認められる地すべり地形の中央上方斜面、道路に変状は確認されない



[P26] 計画施設下流の左岸に認められる地すべり地形の右側崖部、道路に変状は確認されない



[P27] 計画施設下流の左岸に認められる地すべり地形の右側崖部、道路に変状は確認されない

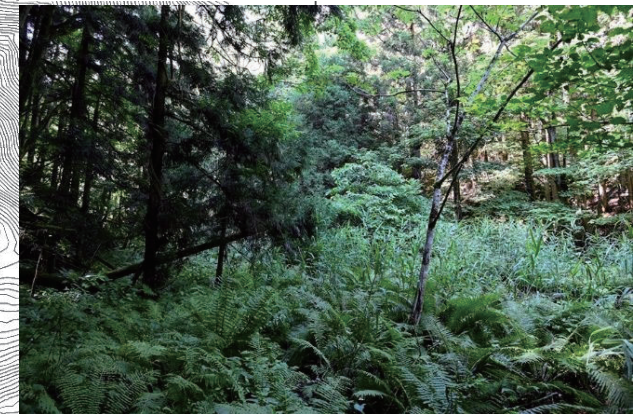
: 写真位置・番号、撮影方向 : 想定地下水流動方向
地形・地質 現地踏査結果図 (長野市 中条日高：専納～大塩)



[P 02] 谷底を流れる水路の幅は1～1.5m程度で、水深は5～10cm程度と浅い。湿生の植物群落は少ない。



[P 01] 斜面の一部がスギ植林となっている。

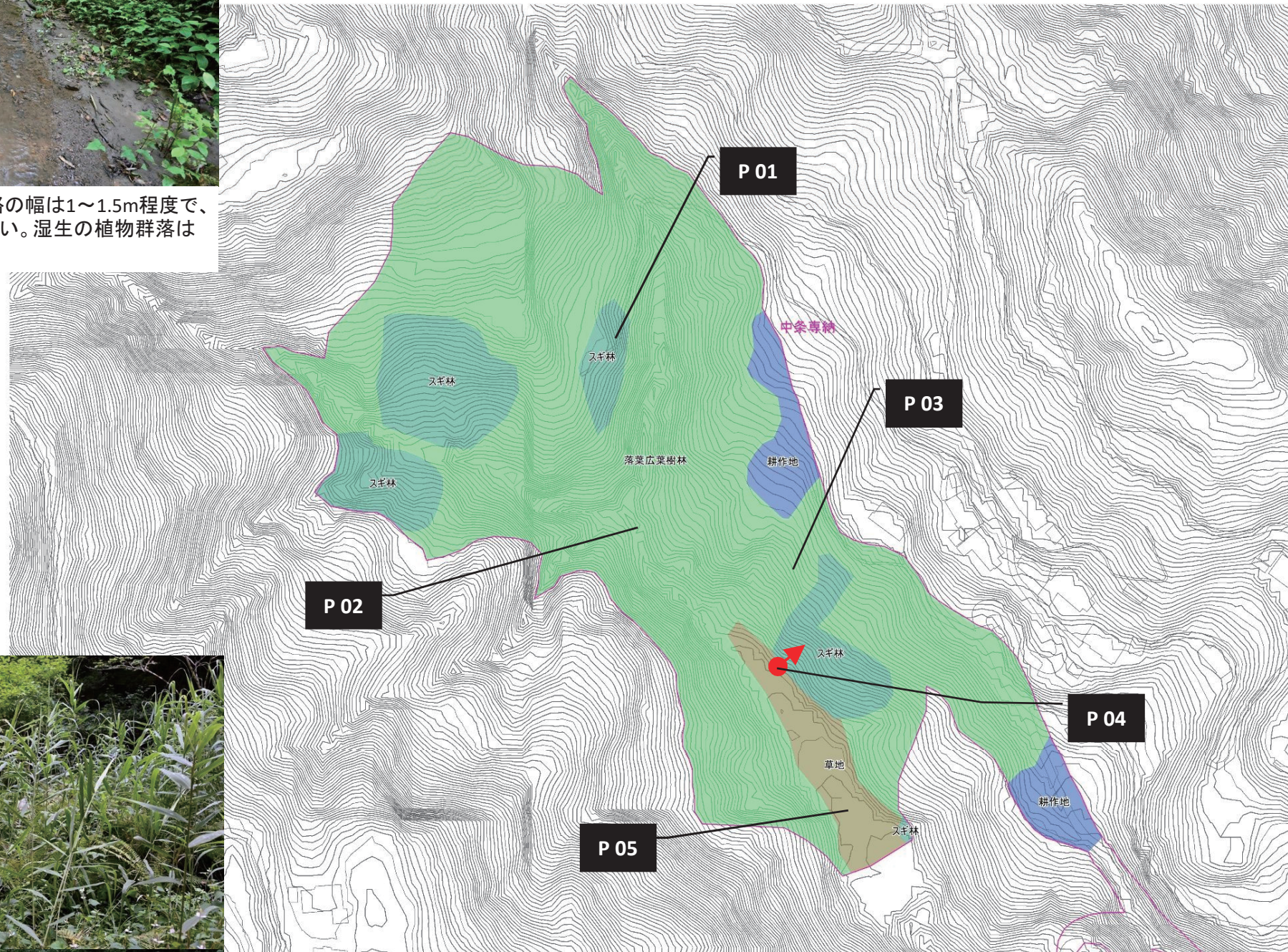


[P 03] 斜面部は落葉広葉樹林やスギ植林となっており、一部にモウソウチク群落を確認された。



[P 04] 集落から繋がっていると考えられる排水溝が確認された。

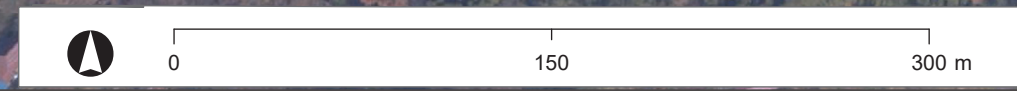
50 100 m



[P 05] 下流端は堰堤となっており、堰堤の堆砂敷には、ヨシ群落やカササゲ群落が形成されていた。

評価項目		現地概要
希少動植物の確認状況	動物	なし
	植物	なし
	生息・生育環境	・沢は、砂泥質の河床となっており、このような環境を好む底生動物の生息地となっている可能性がある。
自然の改変度		・斜面部はスギ植林となっている。 ・谷底は、ヨシやカササゲ等からなる草地となっている。
留意点		・現地踏査において重要種及び重要種の生息・生育場所となる環境は確認されず、現時点では事業による自然環境への影響については不明である。

航空写真（長野市中条日高：専納～大塩）



撮影日：2004年

凡例
— 敷地範囲